

団体名 manabiyori

以下の設問に対し、率直なご意見の記入をお願いします。ヒアリング当日は、記入した内容をもとに各委員からヒアリングを行います。事前に聞き取りした内容以外での要望もあれば当日伺います。

【過去に経験した差別的事案、生活していて困った経験についてお聞かせください。】

・差別的事案を経験したことはありますか

「発達障害は甘えだ」と言われる。その他、神経質・考えすぎ・気のせい等。
カミングアウトした途端、無視（排除）。又は、生きずらさや悩み等を相談しても「誰にでもある」「そんな事言ったら誰でも発達障害」と話をまともに聞いてもらえない。
（間接的に）人と違う行動している人を見て「発達障害なんじゃない？」と笑う。
使えない等と罵倒される。
曖昧な表現や指示が分からない為、確認すると「あーもういいや！」と言われ、何も教えてくれなくなる。
習い事を断られる。

・生活していて困った経験はありますか

歯医者さんや美容室への抵抗。（感覚過敏や対人面に対するハードル）
曖昧な表現や暗黙のルール、空気を読む等が苦手な為、対人関係やコミュニケーションにおいて支障が出る。
気持ちを言語化する事がうまく出来ず、違った形で相手に伝わってしまう。（伝達事項同様）
短期記憶が出来ず、忘れ物が多い。優先順位をつけることが苦手→仕事面において困難。
様々な学びや知識をインプットしても、それをアウトプット出来る場や機会が少ない。
発達や精神障害の当事者とのつながりはほとんどなく、気持ちを共感し合えるといった機会がなく、孤独を感じやすい。

【住み慣れた地域で暮らしていくためには。】

・現在生活している地域で引き続き暮らしていくためには、どのようなことが必要だと考えますか。

障害を持った子どもでも、自由に遊べる様な場所や施設が増えて欲しい。
親の為のレスパイト（育児をしていく中での自己肯定感の低下防止。）
子どものパニック等の行動に対しての理解。

【市、事業者（飲食店、商店他）などへ望むこと。】

・行田市に望むこと

複数の手続きを1つの場で済ませられる様にしてほしい。（障がいのある子どもを連れて行ったり来たりする事が非常に大変という声が多かったため、前回提案。福祉課にて声をかけてもらえれば対応出来ますとの回答を頂いておりますが、現在も対応可能でしょうか）

小さなものでもよいのでお知らせのPOPの様なものがあると分かりやすく助かります。

・商店、飲食店などの事業所に望むこと

「障害のある人も気軽に入れます」という様な認定ステッカーみたいな物があるのはどうか。

↓ どんな効果が？

お店を選びやすくなる。

子どもの発達特性が出て、焦ってお店を出たりする事なく、食事を楽しむ事が出来る。

・交通機関について望むこと

発達障害特性→こんな行動する場合があります。というポスターを作成し車内に張ってもらう。

↓ どんな効果が？

当事者外出の際に、突発的に起きてしまう特性（行動）に対して、周囲の人にわかりやすく状況を伝え、理解してもらう為。

・その他の業種について望むこと

障害のある子ども達が入れる保育園・幼稚園が増えて欲しい。（幼稚園は断られることがある）

【必要とする支援・サポート体制（将来まで）】

・今日から、将来まで必要とする支援・サポート体制についてどのようなことを望みますか

（自身の障害や病気の経験から、その経験を生かして同じ境遇にある仲間をサポートする）ピアサポーターの配置（養成）

↓ どんな効果が？

当事者だからこそ分かる気持ちや視点がある。

サポート側も自身の経験を活かせる機会につながる。

あまりオープンに出来ない現状がある中で、様々な形のサポートや支援が増えれば、二次障害を防げたり、社会参加の機会がより多く持てるのではないかな。

【その他参考として聞きたいこと。（改めて伝えたいこと）】

参考例）・障がい者差別解消条例について

・〇〇〇のような行田市になることを望んでいる。

今回、このような機会をいただきありがとうございました。

ここに書いたことは、沢山の当事者の中の一意見であり、一人ひとりが持つ悩みや課題は本当に多岐にわたります。

差別の問題に関しても、内面のことであるがゆえに一目では分かりづらく、人間関係の積み重ねの中で障害特性によるすれ違いを重ねた結果、その先に差別があるように感じています。

排除ではなく、多様性を受け入れ認め合える社会の中で人々が生きていけること。それには、様々な立場からの対話の機会が必要と考えています。

環境変化を望みながらも、中々一歩が踏み出せずにいる方がどのような状態にあるのかを把握し、その先の一つとして行政や地域の方との意見交換会など、前向きな機会が変化への良い刺激に繋がっていくのではと思います。

一年に1回でもその様な機会を設けていただけますよう、お願い申し上げます。

よりよい未来を目指して尽力していきますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【その他市の障がい福祉施策について、意見集約したもの】

・手続きの時期や問い合わせ先等がまとまっている冊子のようなものがあると便利かなと思います。

（例えば就学に向けての相談をいつ、どのようにすればいいのか、わからなかったです）

・障がい者が使える支援等の情報をもっと提供してほしいです。

（行田市HPの充実や児童デイサービスを通した情報伝達など）

・保健センターは障がいや病気を持っているお子さんの情報を持っていると思いますが、そのお母さんへのアプローチがないです。親子教室や児童デイがあるのになかなかその情報がおりてきません。年齢や障がいの程度に関わらず早い段階で一度お母さまに「こういったものがあります」とお話しすべきだと思います。

・保健センターにおけるX才児検診について、とりわけ小さいうちは長時間、幼児を待たせる事、病院などとの日程を調整する事、健常者のお子さんと同じ場で過ごす事により我が子の厳しい現状を目の当たりにしなければならない事、などの点について困難が生じる時もあります。ご配慮いただければ幸いです。

→保健センターにおける障がい児とその親との密な連携、新たなアプローチなど

・専門の療育のリハビリを受けられる所が市内にもあると良いと実感しています（東松山市のハロークリニックのような所）

・発達がゆっくりな子どもでも気軽に通える歯医者さんがあると嬉しいです（音が苦手、口の中に手を入れられるのが苦手な子どもも通えるような所）

・医療用装具の助成金補助拡大について、期間や金額などあると思いますが、幼稚園などの就園や学校入学など子どもの成長に応じて助成金を増やすなどして頂けると助かります。

→療育機関、医療機関の充実とそれに応じた補助拡大についてなど

・就学前の発達に遅れがあったり体の不自由な子どもが幼稚園や保育園に就園する際、園によっては「うちではこういったお子さんはお預かりできません」といってお断りされてしまって希望する園に就園できないこともあります。園の人材確保や、先生方の障がい児に対する知識向上をして欲しいです。

→障がいのある子どもでも、出来る限り自由に教育を受ける権利の確保についてなど

・障がいを抱える子どもと一緒に安心して訪れることのできる、飲食店などがもっとあると嬉しいです。

・お母さんたちがほっこりできる場所が欲しいです。

→障がい児も想定した託児サービスの充実や店舗の充実など